

令和4年4月4日 立川市広報課
送付文書 計3枚（チラシ2枚含む）

報道機関 各位

《大政奉還》を砂川村（立川市）で描いた日本画・歴史画家

邨田丹陵^{むら た た ん り ょ う} 生誕150周年記念 特別展

日本古来の大和絵^{やまとえ}を継承し、昭和10(1935)年に完成した《大政奉還》を東京府北多摩郡砂川村(現在の東京都立川市砂川町)で描いた歴史画家・邨田丹陵の生誕150年を記念した回顧展。令和4(2022)年は邨田丹陵の生誕150年の節目の年となります。今回の特別展では、日本の幕末から明治時代を代表する大和絵師の一人、川辺御楯^{かわべみたて}の教えを基調とする繊細で端麗な描写を行う丹陵の歴史画や歌仙^{かせんえ}絵などと、丹陵と同じ時期を過ごした義兄の寺崎廣業^{てらさきこうぎょう}などの作品も展示します。丹陵の代表作《大政奉還》(聖徳記念絵画館所蔵)のパネル展示や、丹陵が砂川村に転居したことを記録した転居葉書(福井県立美術館蔵)の画像展示なども行います。

明治～大正～昭和初期の時代にかけて、邨田丹陵が残した作品の数々、約40点を展示するとともに、丹陵が砂川村(立川市)にゆかりがあることを史実として伝えていきます。



邨田丹陵《六歌仙》個人蔵



井手久美子著「徳川おてんば姫」より 東京キララ社刊

日時：4月26日(火)～5月8日(日) (午前10時～午後5時) ※入場は午後4時半まで
会場：たましん RISURU ホール (立川市市民会館) 1階・地階 展示室

【主催・問い合わせ】

(公財) 立川市地域文化振興財団 担当：小林、加登^{かとう} TEL042-526-1312 内線 6722